

# 平方根の加法・減法（1）

学習日 月 日

年 組 番 氏名

(1) 次の①～③は $\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$  といってよいかどうかを説明しようとしたものです。

①～③の説明は正しいといってよいでしょうか。

① 具体的な値で調べると

$$\sqrt{2} + \sqrt{3} = 1.414 + 1.732$$

$$= 3.146$$

$$\sqrt{2+3} = \sqrt{5}$$

$$= 2.236$$

したがって  $\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$

②  $\sqrt{4} + \sqrt{9} = 2 + 3$

$$= 5$$

$$\sqrt{4+9} = \sqrt{13}$$

つまり

$$\sqrt{4} + \sqrt{9} \neq \sqrt{4+9}$$

したがって

$$\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$$

③ (左辺)<sup>2</sup> =  $(\sqrt{a} + \sqrt{b})^2$

$$= \sqrt{a}^2 + 2\sqrt{a}\sqrt{b} + \sqrt{b}^2$$

$$= a + 2\sqrt{a}\sqrt{b} + b$$

(右辺)<sup>2</sup> =  $(\sqrt{a+b})^2$

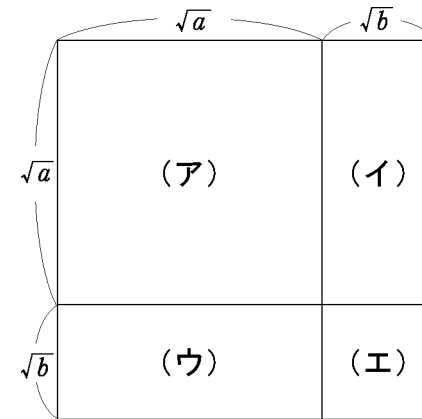
$$= a+b$$

したがって

$$\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$$

(2)  $\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$  を示すのに、下の図を使用すると、すっきり説明できます。

□に記号や不等号をあてはめて説明を完成させなさい。



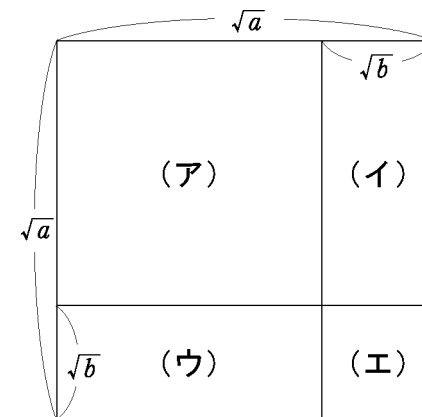
$\sqrt{a} + \sqrt{b}$  は正方形の一辺の長さ

$\sqrt{a+b}$  は □ と □ の和と等しい

面積を持つ正方形の一辺の長さだから、

$\sqrt{a} + \sqrt{b}$  □  $\sqrt{a+b}$  がいえる。

(3)  $\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$  を図を使って説明しよう。



# 平方根の加法・減法（1）

(1) 次の①～③は $\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$  といっってよいかどうかを説明しようとしたものです。

①～③の説明は正しいといっってよいでしょうか。

① 具体的な値で調べると

$$\sqrt{2} + \sqrt{3} = 1.414 + 1.732$$

$$= 3.146$$

$$\sqrt{2+3} = \sqrt{5}$$

$$= 2.236$$

したがって  $\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$

②  $\sqrt{4} + \sqrt{9} = 2 + 3$

$$= 5$$

$$\sqrt{4+9} = \sqrt{13}$$

つまり

$$\sqrt{4} + \sqrt{9} \neq \sqrt{4+9}$$

したがって

$$\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$$

③ (左辺)<sup>2</sup> =  $(\sqrt{a} + \sqrt{b})^2$

$$= \sqrt{a}^2 + 2\sqrt{a}\sqrt{b} + \sqrt{b}^2$$

$$= a + 2\sqrt{a}\sqrt{b} + b$$

(右辺)<sup>2</sup> =  $(\sqrt{a+b})^2$

$$= a + b$$

したがって

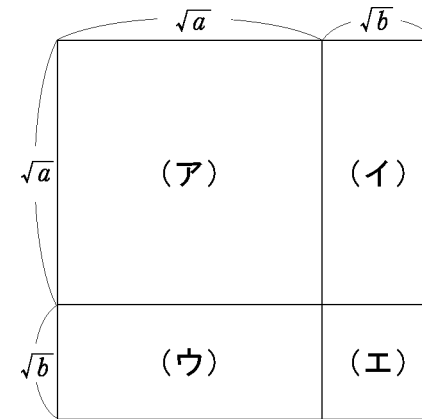
$$\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$$

③は正しい。

①, ②は具体的な数字を用いての確認であり, その数字についての説明でしかない。つまり, いつでも成り立つとはいえない。(ただし, したがっての前に「このような反例があるのだから」とことわってある場合には, 正しいといっってもよい。)

(2)  $\sqrt{a} + \sqrt{b} \neq \sqrt{a+b}$ を示すのに, 下の図を使用すると, すっきり説明できます。

□に記号や不等号をあてはめて説明を完成させなさい。



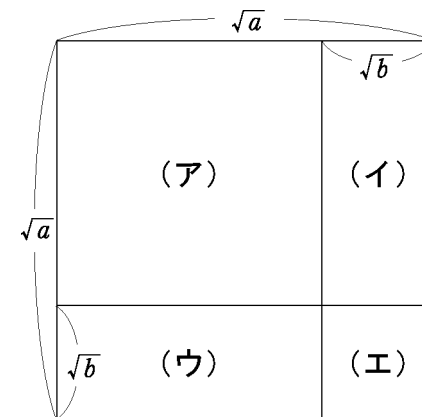
$\sqrt{a} + \sqrt{b}$  は正方形の一边の長さ

$\sqrt{a+b}$  は (ア) と (エ) の和と等しい

面積を持つ正方形の一边の長さだから,

$\sqrt{a} + \sqrt{b}$  >  $\sqrt{a+b}$  がいえる。

(3)  $\sqrt{a} - \sqrt{b} \neq \sqrt{a-b}$ を図を使って説明しよう。



$\sqrt{a} - \sqrt{b}$  は正方形(ア)の一边の長さ

$\sqrt{a-b}$  は面積が(ア)+(イ)+(ウ)の正方形の一边である。

したがって,

$\sqrt{a} - \sqrt{b} < \sqrt{a-b}$  がいえる。